



作成日 2010/04/28  
改訂日 2018/04/01

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 フィルスターIBパウダー (GHS)  
 製品コード CE-F01-1069  
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社  
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館  
 電話番号 03-5419-6206  
 FAX番号 03-5419-6265

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 可燃性固体 区分外  
 健康有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)  
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ  
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

#### 注意書き 予防策

粉じんを吸入しないこと。(P260)  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

#### 対応

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

#### 廃棄

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別  
 化学名又は一般名

混合物  
 セメント混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
特殊セメント	30～40%	不明			
その他	60～70%	不明			

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。  
刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

特有の危険有害性

それ自身には火災による危険有害性は無い。

消火を行う者の保護

空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法  
及び機材

大気拡散しないように留意する。  
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。  
大量の場合、漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。  
粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。

衛生対策

内容物を故意に吸い込まないこと。

換気の良い場所で取り扱うこと。

眼、皮膚との接触を避けること。

取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。

保管

安全な保管条件

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをすること。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

安全な容器包装材

湿気を避ける。

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
セメント	未設定	第2種粉塵 吸入性粉塵 1mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 4mg/m <sup>3</sup>	吸入性粉塵 3mg/m <sup>3</sup> 、総 粉塵 10mg/m <sup>3</sup>

設備対策  
保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具  
皮膚及び身体の保  
護具

取扱いは換気の良い場所で行う。  
防塵マスク、簡易防塵マスク。  
保護手袋  
保護眼鏡  
保護服、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态  
形状  
色

固体  
固体(粒状)  
灰色

臭い

無臭

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

水と接触すると11~13

融点・凝固点

1000°C以上

沸点、初留点及び沸騰範  
囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

爆発性無し

燃焼又は爆発範囲

下限  
上限

データなし

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(密度)

2.80 - 3.20

溶解度

水に難溶

n-オクタノール/水分配

データなし

係数

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

その他

水硬性

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

水と反応して安定固化する。

危険有害反応可能性

標準的条件では危険な反応をしない。

避けるべき条件

水、湿気。

危険有害な分解生成物

なし

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激  
性

水と接触すると強アルカリ性(pH11~13)を呈し、  
眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の  
内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

呼吸器感作性

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロ  
ムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起  
こる可能性がある。

皮膚感作性	<p>極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起こる可能性がある。</p> <p>多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがあるので、区分2(呼吸器系)に分類した。</p>
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
12. 環境影響情報 その他	<p>接触水はアルカリ性(pH11~13)を呈するため、環境に影響を及ぼさないように注意する。</p>
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p> <p>下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。</p> <p>容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>
汚染容器及び包装	
14. 輸送上の注意 国際規制	<p>海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code</p> <p>該当しない Not applicable Not applicable</p>
国内規制	<p>航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報</p> <p>該当しない 該当しない 該当しない 非該当 非該当</p>
特別の安全対策	<p>該当しない</p> <p>転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>包装容器を破損させないように注意し、直射日光や雨水に当たらない様に被覆シートをかけて輸送する。</p> <p>梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。</p> <p>また、荷崩れしない様に取り扱うこと。</p> <p>その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。</p>
15. 適用法令 該当法規なし	

16. その他の情報  
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。